

伊勢湾台風襲来50年を迎え、堤防整備等を継続して推進します。

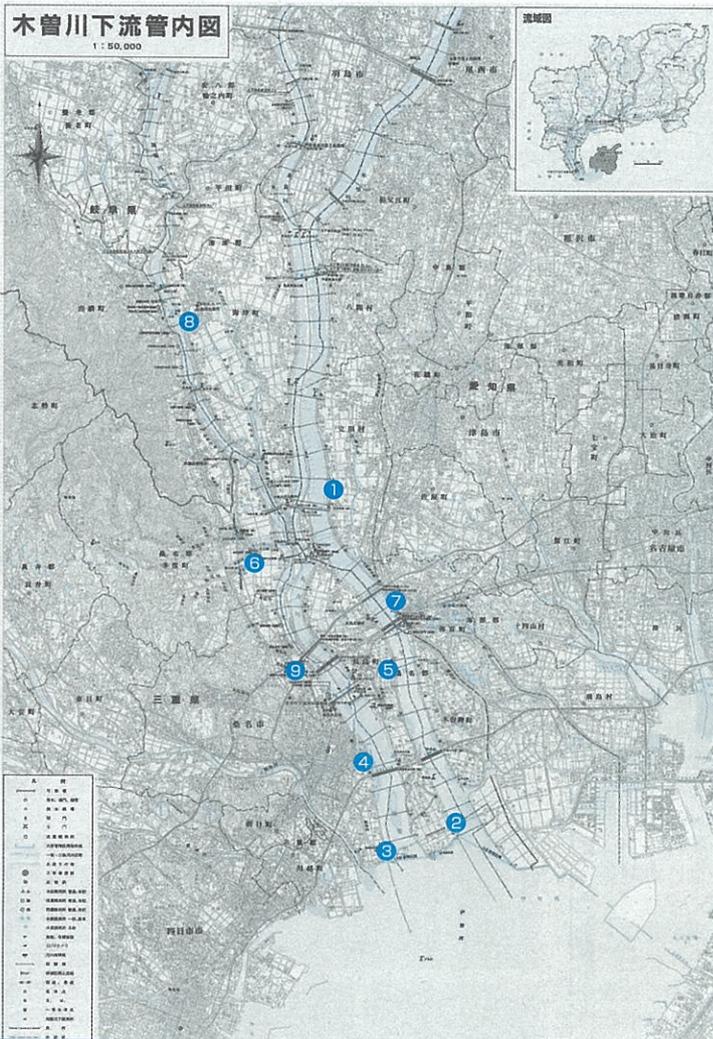
木曾川下流河川事務所では、以下を目標に堤防の整備を推進しています。

- ①戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させる。
- ②満潮時に伊勢湾台風が再来した場合に高潮による災害の発生を防止する。

平成20年度は、右図①②③において堤防補強工事を実施しました。④～⑨において、平成21年度にかけて堤防補強工事を継続します。平成21年には、伊勢湾台風の襲来から50年という節目の年を迎えます。地域の安全・安心の向上を目指し、今後も堤防整備等を推進します。



赤須賀地区(平成20年11月撮影)



- ①木曾川左岸大成地区(愛西市立田町富安地先)
- ②木曾川右岸松蔭地区(桑名市長島町浦安地先)
- ③揖斐川右岸城南地区(桑名市大字福岡町地先)
- ④揖斐川右岸吉之丸地区(桑名市大字赤須賀地先)
- ⑤木曾川右岸鎌ヶ地地区(桑名市長島町東殿名地先)
- ⑥脇江川右岸中須地区(桑名市多度町中須地先)
- ⑦木曾川左岸五明地区(弥富市五明地先)
- ⑧揖斐川左岸本阿弥新田地区(海津市海津町西小島地先)
- ⑨揖斐川右岸深谷地区(桑名市下深谷部地先)

木曾三川だより

国土交通省中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

管内No.120

2009.3

水災害講演会「災害犠牲者ゼロを目指して～これからの大規模災害にどう備えるか～」が開催されました。



平成21年2月27日、桑名市長島町長島公民館大ホールにて、桑名市・国土交通省木曾川下流河川事務所・社団法人中部建設協会の主催により、災害への避難誘導策のあり方などを研究されておられる群馬大学片田敏孝教授をお招きして、「災害犠牲者ゼロを目指して～これからの大規模災害にどう備えるか～」の演題で、講演会を開催しました。

近年、大規模な台風、高潮、地震などによる自然災害が日本を始め世界各地で頻発しています。そのため、中部地方整備局では、平成18年11月に、国の地方支分局や地方公共団体(愛知県、三重県、岐阜県、名古屋市、関係市町村)、道路鉄道の施設管理者、上水道・電力等のライフライン施設管理者など52機関が参加する「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」⑤を設置し、大規模浸水を想定した「危機管理行動計画」を策定中です。当協議会では片田教授に学術面からのご助言をいただいています。

講演会は、夕方7時から開催され、200名を超える主に長島町

住民の方々が聴講にお集まりいただき、一時は「大ホールに入りきれない!」と心配されるほどの熱気の中で始まりました。講演内容は、近年の気象変動の話から始まり、伊勢湾台風の話、自然災害に対する自助・共助・公助のありかた、地域防災力の強化、スーパー伊勢湾台風に対する危機管理意識とその対処、長島町避難誘導対策の検討手法そして住民意識調査(アンケート調査)の協力依頼を、動画など映像を使い説明されました。会場入り口には講演に併せて、照明車など災害対策車両の展示、伊勢湾台風写真の展示を行いました。

講演後の質疑応答では、「長島町をモデルとした避難誘導策の検討はいつ頃まとまるのか」との質問について、「春には暫定版を皆様に紹介し、秋には完成させたい。」とのお話でした。

⑤ ネーデルランドとは、オランダの国名になっている「低地の国」という意味。「濃尾平野0m地帯」を表現する言葉として、この名称が付けられた。



木曾三川公園センター「チューリップ祭2009」開催

木曾三川公園センターでは4月4日(土)～19日(日)にチューリップ祭2009を開催します。大花壇をメインに公園内をチューリップ一色で彩り、期間中はファミリー向けのステージイベントやミッフィーと写そう、ストリートパフォーマンス等いろいろなイベントを開催します。

○木曾三川公園センター「水と緑の館」3月14日(土)にリニューアルオープン

○木曾三川公園東海広場東エリア4月29日(日)に新規開園

皆様方の家族づれでのお越しをお待ちしております。



揖斐・長良川中堤での河川清掃活動を行いました

1月15日(木)に揖斐川と長良川に挟まれた県道桑名海津線(通称:中堤)沿いの河川清掃を行いました。今回行ったのは伊勢大橋から近鉄・JR橋梁にかけての区間で、日頃から多くのゴミが目につく場所となっていました。当日は大変寒い日にも関わらず、NPO木曾三川ゴミの会をはじめ関係者等のご協力を得て総勢50名程の多数の方々に参加して頂き、清掃後は本来の河川の姿を取り戻すことができました。一部の心ない人達によって投棄されたゴミは今回の限られた区間だけでも軽トラック2台分となりました。

今後ともこのような活動を広めるとともに、地域住民の方々をはじめ多くの皆様に不法投棄に対するご理解とご協力をお願いいたします。



木曾三川下流域自然再生検討会を設立

木曾川下流河川事務所では、木曾川水系河川整備計画(平成20年3月策定)の中で掲げられた「河川環境の整備と保全に関する目標」を踏まえ、具体的な対策やモニタリング計画を盛り込んだ「自然再生計画」の検討に着手しました。

計画を検討するにあたり、木曾三川下流域の現状、変化、環境上の課題、自然再生の考え方等について、多彩な視点から意見を伺うために、木曾三川下流域に関わりが深く地域の生物や環境、自然再生事業等に詳しい8名の学識者・有識者により構成する「木曾三川下流域自然再生検討会」を2月16日に設立しました。今後、一般の方の意見も伺い、平成21年度中には計画を策定する予定です。

木曾川水系河川整備計画

<http://www.kisosansen-plan.jp/>

及び木曾三川下流域自然再生検討会

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

の詳しい内容についてはホームページをご覧ください。



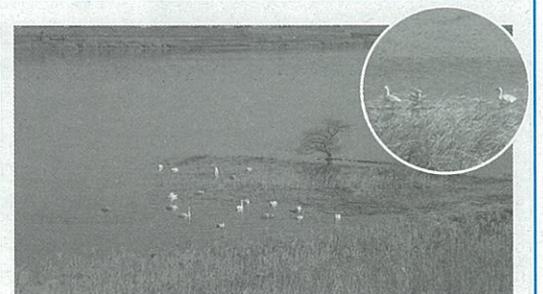
伊勢湾台風災害写真募集!

木曾川下流河川事務所では、伊勢湾台風50年事業のひとつとして、伊勢湾台風災害写真データベースを作成しております。

現在、様々な伊勢湾台風被災写真を収集、整理、分析し順次データベース化しています。木曾川下流河川事務所では、このデータベースをより密度の濃いものとすべく被災写真を探しています。お手元に被災写真をお持ちの方は木曾川下流河川事務所までご連絡いただきたくお願い申し上げます。このデータベースが後世に貴重な災害記録を伝え、各種調査・解析、防災教育、学校教育、防災意識の向上に活用され、ひいては防災・減災につながることを願ってやみません。なお、データベースは木曾川下流河川事務所ホームページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

で公開していますので、ぜひご覧ください。



12月中旬、今年も、木曾川にコハクチョウが飛来しました。コハクチョウはユーラシア大陸北部や北アメリカ北部などのツンドラ地帯で繁殖し、日本や中国東部、北アメリカ中部に越冬しにやってきます。はじめ3羽だった白鳥は、少しずつ増え、今年は、18羽が確認されました。シャッターチャンスをおねらって、アマチュアカメラマンも集まります。

(木曾川右岸 14.8km 愛西市小家)

「木曾三川だより」問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 調査課

〒511-0002 桑名市大字福島465 TEL.0594-24-5715 FAX.0594-21-0893

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>